



修猷館ラグビーOBクラブ

会報 平成21年7月号



4月29日福高定期戦(協力:杉田写真館)

●平成21年度 定期総会開催のご報告

去る4月29日、修猷館高校にてOBクラブ総会が行われました。

事務局より提出された議案は第一号より第五号まで滞りなく参加者全員一致で承認されました。

その他の議案において動議提出されました

- ・動議一号 70歳以上会費無料の廃止の件
- ・動議二号 会費改正の件

が審議され、動議一号については満場一致で承認。動議二号については今年度の検討課題とすることで全審議が終了いたしました。

ここに全OBクラブ会員の皆様に御報告申し上げます。

OBクラブ会員の皆様には平成21年度も引き続きよろしくお願いいたします

修猷館ラグビーOBクラブ事務局 松尾邦雄

平成21年度 修猷ラグビーOBクラブ年会費 納入のお願い

★新入部員を含め 約60名の大所帯です。

日夜奮闘努力している後輩たちを保護者の皆様とともに、OBクラブ全員で支えてゆきましょう。

年会費 5千円 (学生:2千円、賛助会員:3千円)

★西日本シティ銀行 西新町支店

普通 1336258 修猷館ラグビーOBクラブ

★お問合せ:事務局長 松尾 邦雄 (s46卒)

携帯番号:090-3012-0903

メールアドレス: mactaiho@san.bbiq.jp

「修猷館ラグビー・スピリッツ」の探求と再確認(又は再構築):その2

安部 直幸 (S41卒 修猷ラグビーOBクラブ会長)

<「Rugby—Spirits」は、集団組織における行動規範?！>

前稿のように英国パブリックスクールにおいて、ラグビー競技が青少年の精神性の涵養に有益とされたわけは、激しい集団競技を通して社会生活でも当然必要とされる次のようなモラルや成果が自然に身につくと考えられたのであろう、と想像されます。

I. One for All, All for One

「一人は全体のために、全体は一人のために」

一般的に「Rugby-Spirits」を象徴して、上記の言葉が良く使われます。人によってこの言葉の解釈は微妙に異なりますが、次のように理解してはどうでしょう。

One for All : 全体の発展過程における個人の寄与・貢献

All for One : 個人の発展過程における全体からの影響・支援

このことを更に具体的に展開していくためには「全体＝組織」と考え、これを「植物」に擬えると理解が進みます。組織を植物に例えるならば、その組織を構成する下位組織(或いは個人)はそれぞれ花・茎・葉・根の各部分と考えられます。植物は、各部分が有機的に結合し、相互依存の上に下記のように各々の役割・機能を果たしつつ生存・成長していきます。

花: 鮮やかな花弁の色を呈し、芳しい芳香を放ち、甘い蜜を提供し、次世代への繁殖の媒体となる昆虫や鳥たちを集める。

茎: 根が吸い上げた水分や養分を他の部分に運搬すると共に、支柱の役を果たす。

葉: 根から吸い上げられ、茎を通じて供給される水分や養分を空気中の炭酸ガスと結合させ光合成により生み出した酸素を空中に放ち動物の生命を育み、蜜や芳香の元となる炭水化物を精製し、花に送り出す。

根: 地中より水分や養分を吸い上げると共に、成長を続ける全

体のために更に地中に拡張し、更なる安定成長の基礎をなす。

競技における各ポジションと各人の役割、レギュラーだけではなくラグビー部における各部員の仕事を当てはめていけば、なるほどと首肯できると思います。

II. 勇気と決断

「勇気」は、誰しも持つことができる「満足できない現状を打開するために、『踏み出そうとする気持ち』」です。「決断(Decision)」とは、「『踏み出そうとする気持ち』の方向を決めること」であり、その選択肢は練習や試合経験の積み重ねで蓄積されます。勇気なくして決断は生まれず、決断なくして勇気あるプレイは生まれません。

III. ティーム・ワーク

試合中は、Good decisionと Bad decisionが交錯します。ある局面での一人のプレイヤーの1つの Good decisionを更なる有利な展開につなげるとともに、逆に1つの Bad decisionによる不利な展開の拡大を防ぎ、次のGood decisionの機会に結びつける他のプレイヤーの一連の働きかけがTeam workです。

ラグビー競技に親しむことで、一般の社会生活の中で頻繁に出くわす様々な状況での応用動作を自然と身につけることができます。

次回で、最後の取りまとめにしたいと考えます。

●2009福岡県高校ラグビーシーン No.2

松尾邦雄 (S46卒 事務局長)

2009年度の九州高校ラグビーフットボール大会は鹿児島で開催され、一位ブロックでは東福岡、二位ブロックでは筑紫高校が下馬評通り五年連続で優勝し幕を閉じました。

これに先立ち行われた福岡県予選について報告したいと思います。県大会一回戦は16チームが参加し、我が修猷館は久留米の明善高校と対戦し、やや苦戦しながらも(17-0)と完封勝利を収め準々決勝に駒を進めました。福岡県ベストエイトに進出した高校は、東福岡、筑紫高校を中心に我が修猷館、福岡工業、宗像の光陵高校、北九州地区の東筑高校、小倉高校そしてライバル福岡高校の八校でした。我が修猷館の相手は鬼門の筑紫高校、だがこれに勝てれば決勝が見えてくる、その熱い思いを顕戦するOBや学校関係者、父兄に抱かせましたが、結果は惨敗(24-6)、にぎりしめた拳がわなわなと震えるのを禁じ得ませんでした。一対一の接点で最初のうちは互角または勝ったり負けたりが続くのですが、そのうちに七対三で負けるようになり序々にゲインラインを突破され、最終的には筑紫に4トライされこちらは2ペナルティだけという結果に終わりました。この筑紫高校は次の準決勝で小倉高校を(70-0)で破り、ちなみに東福岡は福岡高校を(60-0)で下し以上の二校が九州大会に出場しました。福岡県の決勝では信じられないことに東福岡が筑紫を(82-0)というきちがいじみたスコアで破ったのですが、この準決勝、決勝のスコアから推察すると我が修猷と東福岡の差はいかばかりあるかと畏怖の念さえいだかざるを得ず、まして花園など夢のまた夢としか言いようがありません。

確かに今年の東福岡は強い、五月に福岡で行われたワールドユース大会でニュージーランドやイングランド、南アフリカ等の世界の強豪高校を相手に決勝まで駒を進め、準優勝を収めました。ただ前回でも述べましたがヒガシは九州大会の決勝でまたまた長崎南山に苦戦を強いられました(22-14)。この長崎南山と我が修猷館は練習試合において好ゲームをしているところが一縷の望みであります。

今から秋の大会まで長いような短いような期間、若い修猷ラグーマン達は厳しい修練を積んでいくわけですが、常に打倒ヒガシを合い言葉にしているに違いありません。彼らの統一された精神力と血反吐を吐くような厳しい練習の積み重ねが奇跡を起こすことを、我々OBは信じて彼らをサポートしていきましょう。ラグビーほど番狂わせの少ない競技はないと言われていています。その中で少数の番狂わせ、1960年代の日本代表VSオールブラックスジュニア、1980年代のVSスコットランド代表、外にも長いラグビー史の中に奇跡の戦いがありましたが、その度に同じ言葉が言われてきました。

「彼らの魂の戦いに最大の賛辞を贈る」

グラウンドで闘う若き修猷ラグーマン達にグラウンドの中で手を貸すことはできませんが、彼らの魂を揺り動かすことはできます。OBの魂を結集させて彼らにパワーをあたえてやってください。OBの皆さんよろしくお願いします。

●平成21年九州大会筑紫戦 観戦記

九州大会県予選準々決勝は筑紫高校との間でいつもの通りグローバルアリーナを戦場として行われた。ここ数年の大会でも準々決勝で福岡、筑紫と当たることが多く、ベストエイトが厚い壁となっている。昨年3連敗したリベンジを期待しOBや保護者、そして中嶋館長先生や教頭先生も応援に駆けつけていただいた。朝自宅を出るときは晴れていたがグローバルに着くと曇り空で、思いのほか北風が冷たく半袖、半ズボンの装いで出かけたのを後悔。

試合は筑紫風上、修猷風下、筑紫高校のKOでスタート。試合前の整列では昨年ほどの体格差は感じない。修猷が大きくなったのか筑紫が小さくなったのか？ 序盤は修猷のきびきびとした動きでペースをつかみ5分、相手陣でオフサイドの反則を得てショットを選択。PG成功し先制(3-0)。

筑紫の反撃、13分、キックで地域を取られ自陣へ攻め込まれ、FWの連続攻撃よりゴール前ラックを飛び越えるようなダイビングトライ(3-7)。

17分、筑紫ゴール前ラインアウトからピールオフからするとタッチ際を快走、トライ(3-12)。この辺から筑紫のボール支配率が上がる。風下の修猷はよくしのぎ「この点数差で後半に持ち込めば」と口に出すといつものように神様は意地が悪くなる。前半終了間際、筑紫陣よりターンオーバーから大きくゲインされ、ラインアウトから筑紫得意のモール。修猷、モールを引き倒しかかるが筑紫は1列目が分裂して犠牲となり残った2列目が余裕でインゴールへ、筑紫、練習通りのプレイと思われる(3-17)。

後半風上を利用して相手陣へと攻め込む。5分、またしても相手陣でペナルティを得て、再びPG成功(6-17)。2T1Gで逆転の射程圏内になり「よし！後半はいける」と期待すると失速するのが昨今の修猷。なかなか修猷ペースにならない。風上でキックを使い敵陣で試合したいところだがスクラム、ラインアウトともに安定せず、いかんせん生きたボールがバックに供給されない。たまにバックに展開できても筑紫のインサイドからのディフェンス網を突破できない。接点での攻防も筑紫が支配し、ターンオーバーを許す。ボール支配率の印象は2:7。筑紫が接点から素早い玉出しで連続攻撃を仕掛けるのに対して修猷は玉出しが遅く攻撃が連続しない。さらにこのころよりのフォローの風が弱くなったと感じたのは、ゴルフ場ではアゲンストの風しか吹かない私の気のせいかな。

自陣ゴール前から⑬-⑪-⑬とランで自陣より大きくゲインするも筑紫フルバックのナイスタックルに阻まれる。

22分、自陣で筑紫の攻撃。得意のFWのサイド攻撃で縦を突かれ決定的なトライを奪われ万事休す(6-24)。

またもや筑紫に屈する結果となったが(筑紫戦では昨年度から3試合連続ノートライ)攻撃力はさておき、筑紫の早い玉出し、連続攻撃に対して最後までディフェンスが大きく崩されることはなくシステムとしてよく機能していたのは誉められるべきだろう。攻守の切り替えの早さもよかった。

筑紫との差はラグビー経験年数とフィットネスの差にある。経験の差は埋めようがないが「学習能力」である程度は補うことができよう。限られた練習時間という制約の中でフィットネスの差を縮める努力をすること、フィットネスの差を補うために他の面を強化することのバランスをどのようにとるかには先生方が決めることだが、接点の攻防を圧倒する強靱かつ俊敏な体と60分間グラウンドを走り回れる走力を身につけることを目標に科学的に鍛え抜く手段を探索して欲しい。

秋にはきっと勝てる。

秋への抱負

今回の九州大会予選で分かった最大のウィークポイントは体格です。1月からこれまで、技術の面ではかなり向上してきていたと、自分たち自身で実感できています。しかしやはり、技術を扱う体ができていなければ、意味がないのではないかと思います。そこで僕たちチームは、空いた時間を利用して筋力トレーニングをし、ベスト4のチームに引けを取らない体を作りたいと思います。

そして筋力はもちろん、技術、精神面でさらなる向上を目指していきます。いつも多くの人々の支えられているということへの感謝の気持ちを決して忘れることなく、花園を目指します。応援よろしくをお願いします。

肘井義彦(3年FWリーダー)

今回の大会を振り返って、結果は負けてしまったけど、確実に力がついてきたと感じました。関西遠征で個々の強さを体感できて当たり負けしなくなりました。残念だったことは、エリアが取れなかったことです。これまで色々な種類のキックを使っておまぐ陣地を取ってきたけど、今回はうまく使えませんでした。これから、最後の大会に向けて、もう一段レベルを上げて、勝てるチーム作りをしていきたいと思います。

大石陽介(3年BKリーダー)

●関西遠征(交流戦・練習試合)結果報告

3月27日から31日にかけて行った、春季関西遠征の試合結果をお知らせします。

3/28 (午前)平等院散策 (午後)交流試合

修猷館 vs. 天王寺 前半:A 38-0 後半:B 15-5 合計:53-5

修猷館 vs. 旭丘 前半:A 17-0 後半:B 12-0 合計:29-0

試合後、3校(天王寺、旭丘、修猷館)及びグラウンドを提供いただいた京都大学ラグビー部の方々とのお交歓会に参加させていただきました。

3/29 (午前)練習試合 (午後)東大寺周辺散策

修猷館A vs. 天理A 前半:5-14 後半:5-0 合計:10-14

修猷館B vs. 天理B 前半:0-31 後半:0-24 合計:0-55

3/30 (午前)練習試合 (午後)練習試合(移動中に花園ラグビー場を見学)

修猷館A vs. 常翔学園(旧大阪工大高) 前半:5-0 後半:10-26 合計:15-26

修猷館B vs. 常翔学園 前半:0-14 後半:0-31 合計:0-45

修猷館A vs. 東京朝鮮(前半のみ) 25-0

修猷館A vs. 大阪朝鮮(前半のみ) 0-10

修猷館B vs. 大阪朝鮮(前半のみ) 10-14

3/31 (日朝交流試合に参加)

修猷館B vs. 三豊工業(前半のみ) 34-0

修猷館A vs. 大阪朝鮮(前半のみ) 5-14

修猷館A vs. 東京朝鮮(前半のみ) 12-5

天候にも恵まれ、予定されたスケジュールを無事終えることができました。試合内容も一定の達成感を持つことができました。また、試合だけでなく、部員全員での行動の中でまだまだできていない部分にも気付くことができ、成長すべき点を見つけることもできました。この遠征に際して、近畿修猷会、OBクラブの方々から多くの激励や援助を頂きました。この場をお借りしてお礼申し上げます、本当にありがとうございました。

関西遠征

3月27日から31日までの5日間、春休みを利用して関西遠征を行いました。5日間の間に、常翔学園、天理、大阪朝鮮高などの強豪校と試合をしました。勝つところまでは一歩及びみせましたが、自分達が練習してきたことが、強豪相手に通用する、という自信を持つことができ、また気持ちの面などプレイ以外の面がまだ甘いことも気づくことができました。とても有意義な経験を積むことができました。今回、実際に感じた全国トップレベルを目標に、これから練習に取り組んでいきます。この遠征を行うにあたってご協力ご支援いただいたOB、関係者の皆様、本当にありがとうございました。

下川桂嗣(3年キャプテン)

●【東京支部便り】 山内章(S45卒)

東京支部の近況です。(と言っても定期的に何か活動をしているわけではありません。福岡での修猷館ラグビー部の活躍を楽しみにしているOB連です)

1. この5月5日(祝・火)、横浜のYC&AC(横浜カントリー&アスレチッククラブ)で「10校ラグビーフェスティバル」というラグビー祭が行われました。これは数年前より全国の名門といわれる公立高校ラグビー部OBが参加して試合と懇親を楽しむという趣旨のお祭りだそうで、今回修猷館OBにも声がかかりました。初めてでしたので、今回は安川氏(S44年卒)、森田氏(S58年卒)、原氏(S62年卒)、徳島氏(H10年卒)の4氏が参加(見学のみ)してきました。以下、徳島氏のレポートです。

「今回の参加校は 秋田高校・旭丘高校・大泉高校・北野高校・小石川高校・新宿高校・千種高校・天王寺高校(今回不参加)・戸山高校・日比谷高校・鹿児島玉蘭高校・青山高校・済々黌高校・北園高校・川越高校で、試合には総勢128名が参加。

ゲームは計3試合行われ、第1試合はオール日比谷VSオール小石川、今回単独でチームを組めたのは上記2校だけで、第2試合は東西対抗オール(40歳以上)、第3試合は東西対抗ヤング(40歳未満)と東西にチームを分けて試合が行われました。18歳から71歳まで幅広い年齢層のラグーマンがプレイし、家族の人も数多く応援に駆けつけていたので、会場は盛り上がっていました。

試合後の懇親会では各校から挨拶がありOB同士でさらに交流を深める場となりました。高校卒業以来、母校のジャージを着て他校と試合をする機会はほとんどなく、こういった場があれば、修猷館ラグビー部OBの結束がさらに強まると思われます。次回からは当校も単独でチームを組める人数で(本格)参加したいと考えております。」

なかなか楽しそうな集いですので、次回(10月末か11月予定)から積極的に参加者を募りたいと思っています。

2. 現在ノンフィクションライターとして活躍の松瀬学氏(S54年卒)が、BS日テレの「B.S.スポーツ LIVE&DREAM」(毎週土曜22:00~22:54)にレギュラー司会として出演されています。皆様ぜひチェックしてみてください。

●平成21年度部員名簿

	学年	氏名	ポジション	出身中学	ラグビー歴	身長	体重	
1	3	青木 慧	CTB	姪浜		174	60	
2	3	植木幹人	PR	舞鶴		180	104	
3	3	江崎圭次郎	FL	百道	百道中学ラグビー部	172	64	
4	3	大石陽介	CTB	長丘	長丘中学ラグビー部	173	75	BKリーダー
5	3	岸田 峻	CTB	姪浜	草ヶ江ヤングラガーズ	168	75	
6	3	清原雅広	SO	前原	かしいヤングラガーズ	165	65	
7	3	白濱優作	FL	内浜		171	70	
8	3	下川桂嗣	FB	姪浜	草ヶ江ヤングラガーズ	181	77	キャプテン
9	3	田口葛大	SH	姪浜		165	60	
10	3	田中 朋	WTB	長丘	長丘中学ラグビー部	164	73	
11	3	鐵見祐太郎	WTB	高取		173	69	
12	3	時任晋平	No.8	原北		179	70	
13	3	豊福 修	CTB	姪浜		179	72	
14	3	檜崎周平	LO	長丘		181	72	
15	3	野口俊介	FL	姪浜		167	62	
16	3	野田一宇	PR	西福岡		183	96	
17	3	肘井義淳	HO	城南	城南中学ラグビー部	176	82	FWリーダー
18	3	松本拓也	SH	金武		165	60	
19	3	森下和人	FB	西陵		176	72	
20	3	鎌水 遼	SO	城南	城南中学ラグビー部・浮羽ヤングラガーズ	171	65	
21	3	渡辺裕介	LO	舞鶴		183	75	
22	2	石田峻康	FL	玄洋		180	67	
23	2	有吉裕道	LO	田隈		180	75	
24	2	小鶴智章	LO	百道		184	85	
25	2	古城智也	FL	姪浜	草ヶ江ヤングラガーズ	167	67	
26	2	折居太一	SO	次郎丸	次郎丸中学ラグビー部	176	63	
27	2	庄崎太郎	No.8	次郎丸	次郎丸中学ラグビー部	173	68	
28	2	田中誠人	PR	長丘	長丘中学ラグビー部	171	93	
29	2	南里知成	WTB	百道		167	62	
30	2	野中亮太	PR	附属	筑紫丘ラグビークラブジュニアスクール	167	75	
31	2	別府健太郎	LO	城南		183	69	
32	2	松尾和真	SH	城南	城南中学ラグビー部	162	64	
33	2	山下寛明	HO	姪浜		164	70	
34	2	吉永 樹	WTB	次郎丸	次郎丸中学ラグビー部	176	72	
35	1	東 哲平	FL	片江	春日リトルラガーズ	176	67	
36	1	出海孝俊	WTB	百道	百道中学ラグビー部	166	55	
37	1	植木亮斗	SH	百道	百道中学ラグビー部	170	63	
38	1	緒方胤浩	SH	百道	百道中学ラグビー部	164	62	
39	1	川上及幹	SO	長丘	長丘中学ラグビー部	165	57	
40	1	齋藤凌大	FL	姪浜		174	59	
41	1	杉町弘介	CTB	姪浜		167	63	
42	1	染原健人	SO	春日西	春日リトルラガーズ	174	57	
43	1	武田 陸	FL	百道		166	57	
44	1	田中一成	LO	百道	草ヶ江ヤングラガーズ	176	68	
45	1	玉置 明	PR	内浜		172	68	
46	1	中村恒太	SO	百道	百道中学ラグビー部	173	65	
47	1	中村拓登	WTB	友泉		167	57	
48	1	中村天馬	WTB	百道		169	61	
49	1	西田聡志	FB	百道	百道中学ラグビー部	166	58	
50	1	松下純之	LO	高取		175	56	
51	1	松本昌修	HO	百道	百道中学ラグビー部	170	89	
52	1	溝口鉄兵	LO	内浜		179	61	
53	1	持田俊徳	CTB	次郎丸	次郎丸中学ラグビー部	166	60	
54	1	横田帝都	PR	百道		174	118	
55	1	吉富 舜	FL	志摩		165	60	
1	3	野中 瞳		姪浜				マネージャー
2	3	岩切理可子		姪浜				マネージャー
3	2	手嶋文香		附属				マネージャー
4	1	梶原明日香		百道				マネージャー
5	1	武知 遥		百道				マネージャー
6	1	武田 早希		友泉				マネージャー

編集後記

早いもので、OBクラブが安部会長体制になって2年目のシーズンに入りました。今年も20名を超える新入部員が修猷館ラグビー部の門をたたき、なかには110キロを超える者がいたりして、部は益々の活況を呈しています。総勢60名余りの練習風景はまさに圧巻であり、これをサポートするOBクラブも益々充実していかねばと気を引き締めています。今年度中にはグラウンドに照明をつけたり、OB用にブルーとホワイトの横縞に六光星のレプリカジャージが出来たらいいな、などと考えている次第です。

* * *
先日、3月まで顧問を務められた御園園先生が教育委員会に転出（籍は修猷館高校）されましたので、OB、先生方、父兄を交えて懇談会を開きました。今後はグラウンドに出て生徒に直接指導する機会が少なくなるそうですが、修猷館のラグビー部の事は常に気にとめていただけるとのこと、今後ともよろしくお願いします。

* * *
本年度も修猷館ラグビーOBクラブは現役諸君のサポートに全力をあげていく所存であります。そのためにはOB会員の皆様のご協力が不可欠です。平成21年度会費の納入の程よろしくお願いいたします。

●発行／修猷館ラグビー部OBクラブ

事務局／

松尾邦雄（S46卒）
〒811-1347
福岡市南区野多目5-10-45
TEL：092-541-5503
携帯：090-3012-0903
FAX：092-551-7290
e-mail：mactaiho@san.bbq.jp

平成20年度事業報告（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

平成20年4月1日	全国選抜大会出場(於埼玉県熊谷)
平成20年4月29日	福高定期戦(於福岡高校)
平成20年5月	OBクラブ総会(西新黄鶴楼)
平成20年6月4日	顧問懇親会(西新黄鶴楼)
平成20年7月18日	幹事会(同窓会館)
平成20年8月	現役合宿(於鹿児島)
平成20年9月26日	幹事会及び顧問団激励会(西新和気あいあい)
平成20年10月18日	現役激励会(修猷館食堂)
平成20年11月2日	現役最終戦(vs筑紫 於グローバルアリーナ)
平成20年12月13日	OB懇親ゴルフ会(唐津CC)
平成20年12月22日	幹事会及びOB忘年会(西新和気あいあい)
平成21年1月2日	初蹴会(修猷G、食堂、黄鶴楼)
平成21年2月1日	新人戦最終戦(福高 於グローバルアリーナ)
平成21年3月21日	新OB歓迎会(西新黄鶴楼)
平成21年3月28日	現役関西遠征(京都大学G)天王寺高校OBとの交流会

平成21年度事業計画（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

平成21年4月29日	OBクラブ総会及び福高定期戦(修猷館)
平成21年5月30日	OB懇親ゴルフ会
平成21年6月	顧問懇親会
平成21年7月	幹事会
平成21年8月	現役合宿
平成21年10月	幹事会及び現役激励会
平成21年12月	OB忘年会及び懇親ゴルフ会
平成22年1月2日	初蹴会
平成22年3月	幹事会及び新OB歓迎会

平成21年度新人事（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

名誉会長	柴田 忠敏 (S32)	幹事	森部 信二 (S28)
会長	安部 直幸 (S41)		橋詰 博 (S29)
副会長	平島 正登 (S30)		斉藤 雄 (S30)
副会長	武藤 英治 (S45)		堀川 大助 (S31)
幹事長	星野 順二 (S42)		柴戸 敬史 (S35)
副幹事長	安川 裕行 (S44)		柴田 進 (S41)
副幹事長	淵本 千陽 (S52)		原田 隆 (S45)
事務局長	松尾 邦雄 (S46)		伊佐 幸雄 (S50)
副事務局長	田中 喜久 (S46)		濱田 政司 (S52)
副事務局長	松尾 真典 (S52)		松本四王起 (S53)
事務局会計	十時 広二 (S57)		小山 一英 (S55)
事務局 I T	河野 隆 (S55)		生越 丈夫 (S56)
			堀内 恭彦 (S59)
			野上 智之 (S60)
			河手 想志 (H11)
			渡辺 真五 (H14)
監査	左座 正弘 (S41)		

平成20年度会計報告

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

一般会計

収入の部	予算額	決算額
前期繰越金	2,010,219	2,010,219
O B年会費	1,300,000	941,790
記念品販売収入		309,000
雑収入・その他		18,726
預金利子 6,326		
忘年会余剰金 10,000		
激励会余剰金 2,400		
収入の部合計	3,310,219	3,279,735

支出の部	予算額	決算額
O B総会費	10,000	0
修猷・福高定期戦	50,000	20,000
現役激励会	50,000	0
初級会	30,000	39,410
新O B歓迎会	100,000	90,000
O B使用「シャージ・タニング」代	60,000	60,000
会議費	10,000	1,965
通信費	300,000	336,027
会報送料 217,647		
会費督促送料 23,920		
各種案内状送料 90,050		
振込手数料 4,410		
印刷・コピー代	50,000	333,115
会報作成費 237,227		
各種案内状作成費 95,888		
事務用品費	15,000	42,606
現役補助費	300,000	300,000
ホームページ維持管理費	126,000	126,000
保険料	20,000	21,484
慶弔費	20,000	59,559
東京O B会補助費	100,000	0
夏合宿陣中見舞い	50,000	50,000
予備費	9,000	0
小計	1,300,000	1,480,166
次期繰越金	2,010,219	1,799,569
合計	3,310,219	3,279,735

全国選抜大会寄付金総括報告

収入の部	決算額
全国大会出場寄付金収入総額	4,737,000
収入の部合計	4,737,000

支出の部	決算額
ユニフォーム補助費	778,000
選抜大会栄養補助費	300,000
東京O B会補助費	300,000
ビデオカメラ補助費	100,000
印刷・コピー代	25,937
通信費	58,765
記念品製作費	660,000
タオル 240,000	
ネクタイ 420,000	
倉庫寄附費	300,000
関西遠征補助費	500,000
小計	3,022,702
差引特別会計繰入額(※)	1,714,298
支出の部合計	4,737,000

※選抜大会寄付金の余剰金については、「現役強化特別会計」として個別管理とする

財産目録(平成21年3月31日現在)

資産の部			
現金			5,000
普通預金	西日本シティ銀行		3,808,867
タオル	@800×100本		80,000
ネクタイ	@2,100円×148本		310,800
負債の部			
未払金	倉庫寄附費		300,000

平成20年度 決算監査報告書

平成20年度決算に関し、関係書類、帳票類を監査の結果、適正に処理されていることを認めます。

平成21年
月 日

監査役 左 庄 正 弘

平成21年度予算

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

一般会計

収入の部	予算額	決算額
前期繰越余剰金	1,799,569	
O B年会費	1,200,000	
雑収入・その他	0	
記念品販売収入	200,000	
収入の部合計	3,199,569	

支出の部	予算額	決算額
O B総会費	10,000	
修猷・福高定期戦	50,000	
現役激励会	50,000	
初級会	30,000	
新O B歓迎会	100,000	
O B使用「シャージ・タニング」代	60,000	
会議費	10,000	
通信費	250,000	
印刷・コピー代	250,000	
事務用品費	15,000	
現役補助費	300,000	
ホームページ維持管理費	126,000	
保険料	20,000	
慶弔費	20,000	
東京O B会補助費	100,000	
夏合宿陣中見舞い	50,000	
予備費	20,000	
小計	1,461,000	
次期繰越剰余金	1,738,569	
支出の部合計	3,199,569	

現役強化特別会計

全国選抜大会寄付金より繰入	1,714,298	
---------------	-----------	--